

右肩押部砲彈被元創重傷
 上等兵小島広一公香川春三(河)モ極メテ整傷
 右支隊本部ニ通報ヲセリ
 七 沖地区隊情報第一九號
 一兵進級ノ件照會
 賞電第三二號一頭ニ依ルニ年次後半ハ在四名ニシテ
 比率八兵長ニヒトナリ規定付表備考三頭ニ依リ
 三名ヲ上申セリ至各一級ニシ
 八 爾今情報ニ關スル件ハ統ヲ軍務部ニ送報相續シ
 九 守備隊情報第一二〇號
 一期日未定ナルモ軍需品補給ニ爲機帆船ヲ貴地ニ派
 遣セラルル豫定ナルモ出石壁揚陸機關發動機船等
 船等全ク使用ニ堪ヘズ可勿易陸ノ不可ナリヤ
 石貴隊ニ於テ應急修理可能ナリヤ

二月四日
 人員異動
 一 齋ノハニニ 被害地ノ整理復旧岸地補修作業實施
 二 諸報告送報ノ能率向上ノ爲貴隊優秀兵ニ三名
 返次暗張教育ヲ速ニ實施シ自隊ニ於テ使用セヨ
 三 球多情報第一五四號
 情報ニ昔ニ關スル取リ續爲系統ニ制約セラレトナリ直通
 通信系ニ依リ速達ヲ圖ラレ度
 四 守備隊情報第一九八號
 今向野團ニ於テ貴地区隊長等ノ奮闘ト勇氣旺盛ナルヲ喜ブ
 守備隊ニ日敵機空襲ニ依リ益々剛志ヲ培養誓フテ先勝
 ヲ期シテ切ニ貴地区隊長等ノ健闘ヲ祈ル
 五 本日總員ニシテ八名入院二名入室四名練兵休一名
 六 第三監視哨ニ於ケル海岸ノ状況ヲ如シ
 風速七米一〇米 波浪五米 視界五種

晴
沖大東島
勤務

情報

三 中村軍曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
 第一小队 杉本兵長以下九名第一監視哨ニ於テ
 第二小队 西澤伍長以下九名第二監視哨ニ於テ
 第三小队 田川伍長以下二名第三監視哨ニ於テ
 夫々監視勤務ニ服ス
 三、一、四、五 本島沖合ニ井B二九一機高度三〇〇三〇度一八度運送
 四 沖地区隊情報 第六三號
 敵艦砲撃後、應急対策案
 一 水、確保
 水槽全部水絶無トシユルニ夫ニ依リ保水ニシトメテラケルヲ
 以テ爾今通常ノ天候ナラバ給水可能也、今後兵器、衣履
 腐敗ニ対スル補給考慮ヲセテ、今後敵砲撃及
 旱魃ニ対スル処スルタメハ洞窟内ニ水槽ヲ造ルニテラサレバ
 完全ナラスセシト砂壘敷等ト、アミシヤハシガ等補給考慮ニシテ

原

三 揚陸施設、復旧(宇備隊情報第二〇〇號返)
 一 揚陸機関
 浮舟引揚カ蒸氣ウインヤハボイラー全壞復旧不可
 電氣ウインヤ應急転用、見込ミヤリ、發電機一基全
 應急復旧、見込ミ但電燈ヲ期スルタメ今後配電
 板用計器、補給ヲシテ
 2. 出陣時
 艦用揚出機関コヤリ被浪ニテリ時期ヲ利用セバ可
 (機関船員、シツクハ揚出ヲシ、機関スルモ發行セバ可能ナラン)
 3. 發動機船全壞修理不可、浮舟(六隻)ニ復舊ニ急
 修理ニリ使用可能、見込ミ修理用具材料今後補給考慮セテ
 4. 其他、注意
 (1) 揚出機関一機、配電ニシテ修理可能
 (2) 機関船出港ニ關シ、測候所ト連絡シ被浪低キ時到着セシムル

五、守備隊情電 第二七五號

今日敵、攻撃ノ軍ノ戦訓要旨

一、對艦砲射撃ハ築城ノ堅固分散遠敵ニ徹底スルヲ要ス

沖大東島ハ好機ニシテ二十二日發集中射撃ニシテ

二、雲上急降下攻撃機ニ對シテ地上火器ハ期ヲ失テ射撃ヲ集

中ニ得ルノ技術ノ向上ヲ要ス

沖繩本島ハ密着困難ナリキ

六、守備隊情電 第二八一號

珊瑚礁岩洞窟掩蔽ノ厚及表部尋常士隊ノ

厚ハ對策ト共ニ速カニ電報セヨ

七、沖地区隊命令

陸軍上等兵 判上等

命陸軍部長 (三月二日)

八、守備隊情電 第二八二號

事項

三月五日

沖大東島

氣象

食料

軍司令官ヨリ左ノ賞詞電アリシニ付傳達ス

一日敵艦載機未襲ニ當リ守備隊同列ナル戦闘準備將兵ハ奮闘ニ依リ撃墜ハ撃破ニ至リ好戦果ヲ顯サタルヲ喜ブ

凡沖地区隊情電 第二七〇號

爾今情報ニ關スル件ハ總テ軍參謀部ニ速報相煩シタル

一、沖地区隊情電 第二七一號

二、號ニ無線機故障ノ原因不明ニ爲ル事情電 第二五四號ノ件意ヲ知リナニズ連絡ヲセヨ

二、第一監視哨ニ於ケル海岸状況左ノ如シ

風速 五米—二米 波浪 六米 視距 一〇軒

三、本日銃員ニ二六名入隊ニ名入量四名練兵休一名

一、到〇六〇〇被害地ノ復旧整理陣地補強作業實施

中庭上等兵以下四名洋舟修理作業開始

勤務

情報

二 當永保伍長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
 第一小队出口伍長以下九名第一監視哨ニ於テ
 第二小队本田軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ
 第三小队前田伍長以下二名第三監視哨ニ於テ
 夫々監視勤務ニ服ス
 三、一三〇九Bニ九一機九〇度一旋回一ニ〇度脱去高度三〇〇〇
 四、疎防放情電第一〇八號
 通信謀報ニハ敵機動部隊ハ五日又ハ六日本土及南西
 諸島爆撃スルノ算ナリ 一般状況亦過般未ノ攻
 撃直前狀況ヲ呈シテ警戒ヲ要ス
 球三七四〇情電 第二六號
 一 防護警報發十二時三十分奄美大島本島地区
 二 奄美大島本島守備隊長
 三 敵大型機八機美大島ニ進入セルニ依ル

通信連絡

球三七四〇情電 第二七號
 一 防護警報解除 十二時十五分奄美大島本島地区
 二 奄美大島本島守備隊長
 三 敵大型機南方ニ脱去セルニ依ル
 五 沖地区隊情電 第六四號
 大東守備隊情電 第二八二號返
 耐弾三種十五種(抗力(沖地区情電第二八〇號参照))
 (1) 珊瑚礁岩洞窟掩蓋(米又テ略完全(米吾トモ完全))
 (2) 尋常土掩蓋(本島ニハ自然土僅少ナルトモ此種掩蓋
 部無キヲ以テ確報ニ得ザルモ彈痕情況ヨリ判断スルニ米
 ヲ以テ略完全(四米トモ完全(全ナラン))
 (3) 墨石掩蓋(米)ニ米ヲ以テ略完全(米五口トモ完全
 積方、朽拙ニ依ル大石ヲ密ニ積ムコト可ト云
 六 支隊電 第二六號

事項	氣象	人員異動	三月六日 勤務	情報
戦死シル洲上兵長ノ功績上申ニ死ニ訪折書及現認證明書添付セラレ度(各七部トス)	七、第三監視哨ニ於ケル海岸ノ状況ト、如シ	八、本日統員ニミニ名入院ニ名入室四名練兵休一名	一、頭口ヨリ被害地ノ整理復旧障地補強作業實施 二、本山軍曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小队 荒木伍長以下九名 第一監視哨ニ於テ 第二小队 増山軍曹以下九名 第二監視哨ニ於テ 第三小队 角田伍長以下二名 第三監視哨ニ於テ 夫々監視勤務ニ服ス	三、日九五 爆音ヲ聞ク 二、一五 爆音ヲ聞ク

原

通信連絡 事項
四、中隊隊情電第二八九號 軍及海軍通報
通信謀報ニ依リ敵機動部隊集結ヲ示シ明日六時前ヨリ諸島又本土方面美艦ヲ算入り海軍航空部隊一師団本夜哨戒ヲ實施ス豫定ニテ一部ハ戦場進出ヲ整ヘンナリ
五、球参情電第四號 (本文省略)
六、支隊醫電第一七號 戦死傷名明カナス至急(下ニ官報第三三六四號)
六、沖地区隊情電第七二號
一、沖電第六六號、件回答相成度
二、下ニ官報級別令、件如何
八、沖地区隊情電第七三號 戦死セル洲上兵長功績等級(案ニ付テ指示ヨリ)
九、沖地区隊情電第七四號

情報	沖電第五六號兵進級、件四番ヨリ
	沖電第五九號兵進級、件四番ヨリ
	沖電第五九號兵進級、件四番ヨリ
二、第三監視哨ニ於ケル海岸、状況大、如シ	風速一〇米、波浪五米、視田八并
	本日總員二二六名、入院三名、入室四名、練兵隊三名、別務隊一名
	一、頭一〇名、被害地整理、後日、陣地補強作業、實施
三、沖地区隊情報第六八號	二、杉本兵長以下七名、地区隊衛兵勤務ニ服ス
	第一小隊 富永軍曹以下九名、第一監視哨ニ於テ
	第二小隊 富永伍長以下九名、第二監視哨ニ於テ
	第三小隊 高軍曹以下一三名、第三監視哨ニ於テ
	夫々監視勤務ニ服ス

氣象

人員異動

三月七日
沖大東島
勤務

情報

原

敵機未襲情況報告
一、未襲及離脱時刻二、二七一一、二、二二
二、〇三九一機一、〇〇度、侵入高度一〇〇〇、以テ一回旋回、剛後
所上空ニ於テ小型爆彈一、枚下セルモ西方海上ニ一、落下
一八〇度ニ遁走ス
三、陸軍射撃隊、海軍機銃、以テ射撃ヲ數回ナシ、被害ナシ
四、海軍一三機機銃一發射撃ニ至發
五、其他、他方、亦、敵飛行機、本島中安部ニ向テ遁走スル
ト、ハ、多ク、攻撃、企圖アルモ、如シ
要量一〇、要高一〇〇〇、視界三
沖地区隊情報第六九號
敵機砲射撃状況報告並加
一、彈數
西海岸斜面地帯ニ於テ、雨ニ一發、花射、約一〇〇、發

海軍

其七、約一〇〇〇發海中、約三〇〇發
不發彈(十五發彈ハイ散) 約二〇〇發

三、射撃待ニシテ發定集中シテ

三、測候所ハ射撃直後ヨリ故障スル事ナシ 全所無線ハ本日中ニ

復旧ス 故障間當隊三號甲無線ヲ以テ南大東電報官ヨリ

四、目下揚陸及發電施設、復旧制廢家屋、整理河童長期

自給強化ヲ促進スルニ共ニ訓練、精利ニ邁進シ有リ將兵

ノ關心愈々熾烈ナリ御事易クモツ

作命

四、球參情電 第四九號

一、西號戰備下令 二時十五分 南西諸島全地区

二、第三十二軍司令官

五、守備隊情電 第二九〇號

一、七時三十分 大東島全地区 西號戰備下令ス

三、大東島守備隊長

作命

六、沖地区隊作命 第一〇號

三月七日 〇七、三〇

一、敵狀

通海線報ニ依リ、敵機動部隊ハ集結ヲ完了ス本七日

南西諸島又ハ本島方面未精ハ軍大ナリ

敵日未當面、敵噴或機、行動ハ活潑ナリ

〇二、五南西諸島 西號戰備下令

海軍部隊、一部ハ成敗有テ、實地ニシテハ戦闘準備ヲ整ヘ、

二、地区隊ハ益々警戒ヲ嚴シ、敵ノ奇襲ヲ警戒セシトス

三、各隊ハ戰半準備ヲ終リ、スト六ニ由テ強化作業ヲ促進ス、

四、先玉兵曹ハ水面地掃業員ヲ合セ指揮シ、射撃上射撃ノ準備ニ

待ニ並規、射撃ニ進路ヲ夜間ハ他例ニ待機シ、

五、敵機動部隊、未精ニ際シテハ、命令ナキ限リ射撃ヲ準備、

六、敵ハ砲撃ニ際シテハ、洞窟内ニ於テ攻撃ヲ待機シ、

野砲

野砲

、秘通ノ預備ノ減クニ努ムベシ	七、余ハニ七高地自室ニ在リ	七、疎参情電第四三二號	一、丙號戰備下令解除 九時五分 南西諸島全地区	二、第三十二軍司令部	八、守備隊情電第二二九號	一、十二時大東島全地区 丙號戰備解除	二、大東島守備隊長	九、沖地区隊命令	一、陸軍伍長 本日恒之	、	任陸軍々曹 出口榮藏	二、山本隊陸軍伍長 坂岩善一郎	任陸軍々曹 (三月一日附)
----------------	---------------	-------------	-------------------------	------------	--------------	--------------------	-----------	----------	-------------	---	------------	-----------------	---------------

日命

三、士官陸軍少尉 大坪市松	下士官見習兵長 上野國光	各頭書ノ通り未週々番勤務ニ服スベシ	〇沖地区隊情電第二二二號	貴醫電第一七號返	上等兵 洲上字	前頭部砲彈破片創(氣管運動脈切斷)戦死	上等兵 大津榮一	右肩脚關節砲彈破片創(右肩脚關節粉碎)兼右肩	上等兵 小串廣一	脚部砲彈破片創(右肩脚骨骨折)重傷	右前膊砲彈破片創	上等兵 香川春美	左額部砲彈破片創
---------------	--------------	-------------------	--------------	----------	---------	---------------------	----------	------------------------	----------	-------------------	----------	----------	----------

通信連絡

一字

原

兼表

人員異動

三月八日
晴
沖大東島
勤務

情報

一 第一監視哨ニ於テル海岸ノ状況 左ノ如シ
 風速ニ米一六米、波浪ニ米 視界四并
 二 本日總員ニ二六名入院ニ名、入室四名、練兵休ニ名、劇休ニ名
 一 自六時。大詔奉戴式舉行、終了後墓参、
 自二時。分隊戰鬥教練實施
 三 内川軍曹以下ニ名地区隊衛兵勤務ニ殿ス
 第一小隊川崎軍曹以下九名第一監視哨ニ於テ
 第二小隊 松尾軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ
 第三小隊 日高軍曹以下二名第三監視哨ニ於テ
 夫々監視勤務ニ殿ス
 三、ニニニ被茂不明機一八〇度一ニ七〇度ニ通過ス
 四 守備隊情報 第一九六號
 一 敵機初部隊八五日硫黄島ヨリ再ニ行動ヲ開始ス

兼表

人員異動

三月九日
晴
沖大東島
勤務

其ノ指向方向不明ナリ
 一 二月ニ七日以降 ハワイ ショーン ストーン マーシャル 諸島間、
 艦艇ノ移動活動アリ
 二 米國軍事專家 桐原「ハチ」ハ比島及硫黄島作戰ノ後、
 小笠原諸島本ニ登陸、沖繩島上陸ヲ容易クシ、
 アルニ鑑ミ南西諸島ニ對シ敵機活動部隊ノ再ニ監視ニ
 將來ノ上陸攻撃ニ嚴戒ヲ要ス
 五 球ニ七四〇情報 第二八號 (本大官署)
 六 第三監視哨ニ於テル海岸ノ状況 左ノ如シ
 風速ニ米一六米、波浪ニ米 視界一〇并
 七 本日總員ニ二六名入院ニ名、入室四名、練兵休ニ名、劇休ニ名
 一 自六時。被害地ノ整理復旧準備地神隊作業實施
 二 井上軍曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ殿ス

勤務

情報

第一小队 中村軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ
第二小队 内川軍曹以下九名 第二監視哨ニ於テ
第三小队 木山軍曹以下一ニ名 第三監視哨ニ於テ
夫々監視勤務ニ服ス
三守備隊 情報 第二九七號
硫黄島 戦訓
(一) 第一波 上陸前二日ニ亙リ 艦艇数十ヲ以テ 掃火照シ 破壊ヲ
實施シ 残存艦艇ヲ 四五隻程ニテ 距岸ヨリ 二十米 爲 眞陣地
ノ 別ナラ 逐次 破壊ス
(二) 敵ノ 歩兵 戦闘力 優秀ナリトモ 砲火ヲ 阻止 射撃ニ 従
撃スル 攻撃ト 組撃スル 技術 優秀ナリ
(三) 晝間 攻撃 地壕等ノ 破壊下ニ 夜々 攻撃 陣地ニ 進軍ノ 動
「アイロカシ」ヲ 設置 運送 車馬 張下ニ 後退スルヲ 例トス
(四) 第三隊 警大 隊ニ 貴重トシ 陣内ノ 警大 隊ナリ

通信連絡

四 球 第二七四〇 號 情報 第一九號 球 情報 第四三〇 號 (以下 本文 省略)
五 沖 地区 隊 情報 第七八 號
五月 十一 日 五 日 海 軍 船 團 入 港 通 報 アリ 貴 地 寄 港 ナレハ
左 記 モ 持 補 給 方 御 考 慮 コヒマ
(1) 煙 草 燐 寸
(2) 被 服 件 夏 衣 袴 防 暑 襦 袢 防 暑 袴 下 防 暑 暑 衣
防 暑 暑 袴 卷 脚 絆 水 筒 地 下 足 袋
(3) 被 服 消 耗 品 件 白 熾 甲 縫 糸 表 底 革 蓮 横 上 革
半 張 革 手 縫 針 保 革 油 甲 革 茶 褐 雲 青 石 鹼
白 カ タ ン 糸 茶 褐 タ タ ン 糸 木 綿 針
(4) 糧 秣 件 清 酒 食 用 油 小 豆 茶
(5) 陣 營 具 消 耗 品 日 用 品 (甲 乙) 殺 虫 液 白 木 綿
(6) 事 務 消 耗 品 墨 汗 襪 寫 紙 墨
(7) 慰 安 所 日 用 品

氣象	六、第三監視哨ニ於テハ海岸ノ状況モ如シ 風速ニ米一四米、波浪五米、視界六軒
人員異動	七、本日總員ニ三六名入院ニ名入室四名、歸兵休ニ名
三月十日 晴 沖大島 勤務	一、〇八〇〇リ大巻下廣場ニ於テ陸軍記念式舉行 自〇〇〇〇被害地ノ整理復旧陣地補強作業實施 二、出口伍長以下七名、地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小隊 杉本兵長以下九名、第一監視哨ニ於テ 第二小隊 西澤伍長以下九名、第二監視哨ニ於テ 第三小隊 本山軍曹以下二名、第三監視哨ニ於テ 夫々監視勤務ニ服ス 三、守備隊情電第三〇三號 軍司令官ヨリテ、電アリクルニ付傳達ス 一、沖地区隊ノ寒勢孤島ニアリ良ク困苦與テニ耐ヘ長期ニ

日命	五、沖地区隊命令 (三三〇)
	陸軍上等兵 龜川傳次 酒井定家
	四、守備隊情電第三〇三號 八日夕、敵影ヲ没セシ敵艦ハ九日八時三十分頃、シタガ島 西南方端、カニホヤガ、沖ニマリ、B I C R D S W T 上陸用舟艇若干 九時三十分、十一時、B I C 艦艇行場同邊ヲ主砲射撃ス 一〇時、B I C 六八機、東サトル島ニ米穀飛行場同邊ヲ 銃撃セリ
	三、作戦準備ニ適進シ、約二時間ニ亙リ敵艦砲射撃ノ 熾烈ナル砲撃ニ對シ、毅然トシテ守リ過シ、全員志氣 愈々旺盛ナルヲ喜ブト共ニ今後ノ健闘ヲ期待ス 軍司令官

全	坪井三男
全	諸永禮次
全	町田武三郎
全	古川忠次
全	入江一善
命陸軍兵長 (三月一日附)	
陸軍一等兵	
全	村田十平
全	明石文太郎
全	酒井才松
全	平澤閑男
全	柳本久一
全	菅喜久満
全	中川茂清
命陸軍上等兵 (三月一日附)	

二 尤記ノ通り編成替テ命ス

第三小隊 二分隊	兵長 酒井定次
第二小隊 五分隊	入江一善
第三小隊 五分隊	上等兵 寺本正義
第二小隊 三分隊	濱崎伍四郎
指揮班	平澤閑男
第三小隊 二分隊	柳本久一
六 沖地区隊 作命 第十五號 (三月十一日附) 沖大東島	
一本夜三時 海軍機船入港ニ當隊宛軍需品ヲ補給スル事定ナリ	
二 地区隊ハ対海空警戒ヲ嚴メテ共ニ遂ニ揚陸ヲ實施ス	
三 兎王兵曹ハ砲台員ヲ指揮シ対海上射撃ヲ準備シタルベシ	
四 江中尉ハ新要兵力ヲ以テ揚陸機關運用ト車頭設備ノ完璧ヲ期スベシ	
五 立石少尉ハ海軍指揮官ト連絡シ新要兵力ヲ以テ機送品ヲ處理スベシ	
六 前項勤務者以外ハ洞窟分散シ於テ待機シタルベシ	

老字(10)
通信連絡
事項

六、行動開始時期ハ入港前ヨリ分ト子定スルモ別命ス

八、余ハ入港前自室ニ入港後兼車頭ニ在リ

七、支隊経電第二號

夏衣袴、防着襦袢、防着哈衣袴、巻脚絆、水筒、地下足袋、
現在教ヲ報告スベシ

八、守備隊情電第二四五號

本職今般第三軍司令部附ニ補セラル

貴地区隊ガ孤軍奮闘良ノ数次ニ亘ル敵機及砲火

射撃ニ耐エ守備ヲ全クシツアルヲ感謝ス

時局重大、折益貴地区隊武運、長久ヲ祈ル

十五日頂出發、豫定

九、守備隊電第三三號

一三月十日沖大東島ニ向フ船團ニテ暗號手増員、為

陸軍上等兵「楠原 至」ヲ派遣ス

二、今次便船南大東島經由ナレハ遺骨ハ送付セラレタリ

三、城岩軍曹ハ今次便船ニテ原隊復歸セシメラレタリ

ロ、守備隊情電第二四八號

沖大東島地区隊電第六號、件一部、守備隊不整備品

ヲ除キ増加暗號手一名ト共ニ本十日酉時四五分南大東島

出帆、三時貴地着、豫定ニ付前後未練、連絡、連絡ニ

努ムルト共ニ速カニ揚陸ヲ整ヘヨ

三、沖地区隊情電第七九號

第七期戦備日報

一、教育

八日、一八〇—二二〇 戦斗教練(分隊内度)

二、築城

1. 被害地帯、整理及復旧作業

2. 糧秣貯蔵、休養ニ基キ整備設備一部修正精強

3. 各支隊復讐地補強
4. 所水際第七陣地完成
三. 自治
野菜ヶ丘(復讐)多し今後種子獲得を以てナシ
三. 沖地区隊情電第八〇號
池上兵隊ノ海邊哨ハ今次有便船ヲ以テ送附可キリヤ
三. 沖地区隊情電第八一號
逢カニ海禁警ヲ祝シ海武運ノ長久ヲ祈ル
我等一同平素ノ海教訓ニ從ヒ奮ツテ任務ニ邁進セム
今後ノ海指導ヲヒツ
沖大東島地区隊長以下將兵一同
二. 沖地区隊情電第八二號
貴電第十一號ノ件報告
一. 品目 現在數

二. 礦品程度ノモノヲ含ム	二六〇
一五. 第一監視哨ニ於ケル海岸ノ状況无ク如シ	
風速六米—七米 波浪六米 視界一五軒	
一六. 本日總員三二六名入院二名入道四名 隊兵休二名	
一〇. 一五 海軍漢語圖(二卷) 別着書隊誌(一冊) 海原五	
夏衣	二二六
防暑襦袢	一五〇
夏袴	五二六
略袴	四二九
防暑略衣	四二九
巻脚絆	二二四
水筒	二二三
地下足袋	二六〇

人員異動
人員異動

二. 月 二. 月

沖島

勤務

命令

便米米島。島。揚陸作業開始

二 同播團。天。出港。城岩軍曹原隊復歸。島。海邊骨
入院患者。大津榮一。後藤幸六。下釜一善。便米米島ス

三 板尾軍曹以下七名。地区隊衛兵勤務ニ服ス

第一小队 荒木伍長以下。尤名 第一監視哨ニ於テ

第二小队 増山軍曹以下。尤名 第二監視哨ニ於テ

第三小队 井上軍曹以下。二名 第三監視哨ニ於テ

夫々監視勤務ニ服ス

四 沖地区隊命令

一 陸軍軍曹 城岩 善一郎

前大東島山本隊ニ復歸ヲ命ズ

初々本定便船ヲ以ツテ出港スベシ (三月十日也)

二 陸軍上等 橋原 至

普原電着。命セラル。城岩。勤務ヲ命ズ

通信連絡
事項

報告

三 陸軍上等兵		伍々木 莊司			
増廣並勤務ヲ免ズ					
五 沖地区隊情電 第八三號					
四時十五分 船團到着 五時ヨリ揚陸開始					
六 沖地区隊情電 第八四號					
船團九時出港。城岩軍曹ニ書類ヲ托送ス。受領報セテ					
海邊骨。入院患者。大津榮一。後藤幸六。下釜一善。便米ス					
七 種類。被服。托送品。元。記。入。領					
品目	單位	數量	品目	單位	數量
麥粉	斤	二〇〇	半張革	組	二〇〇
食河油	八五		踵履革	履	一〇
酒若布	〇		甲種革	履	一〇
草蓆代用	〇		保革油	〇	
梅干	〇		水筒	個	三〇